

農協と組合員をつなぐ広報誌

なかしゅんべつ



目次

農協法公布記念日にあたって… 2	別海高校活動報告…………… 8
中春別地域畜産クラスター協議会… 3	JAグループ通信…………… 9
(株)なかしゅんべつ未来牧場通信… 4	生乳課情報…………… 10
営農対策情報…………… 5	理事会・乳質乳価…………… 11
牛乳を使った料理の紹介…………… 6	組合員の広場…………… 12
中春別小学校音楽発表会…………… 7	



11月号

JA中春別

2020 Vol. 514



農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 小野寺 俊 幸

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で73年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

今年には新型コロナウイルスという今まで経験したことのないウイルスが、世界的に感染拡大しており、こうしたコロナ禍において、道民に対し北海道農業から行動を起こすことで、農業者と人、農村と都市、生産者と消費者（生活者）の関係のあり方を見つめ直していただくため、「AGRI ACTION! HOKKAIDO（アグリアクション！ホッカイドウ）」と題した取り組みをJAグループ北海道が一丸となって

行っています。

「AGRI ACTION! HOKKAIDO」は、主に次の3つをテーマとした行動であり、まず一つは日頃、北海道産農畜産物を食べていただいている感謝をしっかりと伝えること、次に食料自給率の重要性に関する理解促進と具体的な行動変容を求めること、最後により多くの方に気軽に農業に接する機会を増やしてもらう（パラレルノーカー）ための国民に向けた情報発信であり、第29回JA北海道大会で決意いたしました「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」と「農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成」、「次代につなげる協同組合の価値と実践」の一環として、しっかりと取り組んで参ります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様から夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることを、お誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。



地域一体の取り組みで 生産基盤の拡大を

中春別地域畜産クラスター協議会

中春別地域畜産クラスター協議会（望月英彦会長）では、10月16日（金）に各関係機関参集のもと中春別地域畜産クラスター計画の目標達成に向けた取り組み検討発表会を開催しました。

開催にあたり、中春別地域畜産クラスター協議会望月会長より「当協議会については、12万5000頭の生乳生産量のクラスター計画に対して、令和元年度において12万6400頭の実績となり、クラスター計画目標を達成することができました。」

また、草地更新率については6%とクラスター計画目標である8%に達していない状況ではございます

が、デントコーンを含めると約7%の更新率であり、管内一の草地更新率であると思っております。また、



新規就農、担い手確保に努めるべく(株)なかしゅんべつ未来牧場の設立を行い、現在までに1組の新規就農者の輩出、年内には4組の新規就農予定者の受け入れを行うことから地域一体となり、新規就農者の確保に努めて参りたいと思えます」と挨拶を頂き、その後、取



発表をする目黒職員



り組み検討発表を行いました。活発な質疑を頂き、最後に総括として北海道農政事務所より挨拶を頂き終了しました。

今後もクラスター計画目標達成に向け、地域一体で取り組みを行った中で更なる生産基盤の拡大を図って参りたいと思います。



夏期預託牛の下牧が行われる

共和育成センター

共和育成センターでは、6月6日より入牧していた夏期預託牛を、10月19日に放牧期間を終了し、84頭が預託組合員のもとへ下牧されました。

当日は、早朝より放牧地からパドックが併設された積込場所へ移動し、職員が耳標とネック番号を確認しながら、家畜車へ積み込んでいました。

期間中、20戸の組合員から320頭の育成牛を受け入れ、順次240畝の草地に放牧され、発情発見に細心の注意を払いながら適期授精に取り組み、肺虫駆除などを行いながら作業に当たっていました。

放牧終了後の草地へは、堆肥と消化液の散布を行い、来春の預託牛受入に向け、草地の維持管理に取り組みました。



良質粗飼料確保に向け、 堆肥散布などの作業を実施

酪農研修センターでは、二番草収穫後の肥培管理として、粗飼料収穫地である富岡地区草地への堆肥散布及び、消化液の散布作業を行いました。

100鈔の草地では、5年前より順次草地更新を行っています。地力の低下により収穫量が減少している草地も見受けられることから、今年度は共和育成センターから排出される堆肥を移動し、マニユアスプレッダーによる散布作業を行いました。



また、消化液については、酪農研修センターから別海バイオガス発電へ搬出するスラリ運搬の復路にて、同地区に設置している貯留槽へ搬入し、草地更新後数年経った草地に散布しました。研修生は、春季の消化液散布作業を経験していますが、マニユアスプレッダーによる堆肥散布作業は初めての経験であるため、草地の起伏に応じた速度制御と、均一に散布できる技術の習得に当たっていました。

哺育管理の“理由”をおさらい

研修センターにおける哺乳は、従来から全乳哺育による管理を行っていましたが、一般的には代用乳による哺育体系が主流になっていくため、新規就農に向けては、新たに哺育技術の習得が必要になることから、この度の講習会開催となりました。

講習会には講師として、9月24日(木)全酪連酪農技術研究所(福島県矢吹町)より村山

恭太郎技師を招き、哺育期の大事なポイントとして、初乳の重要性と代用乳の有効性を学びました。

受講内容を基本に、研修生は早速10月の分娩子牛から全酪連担当者及び、指導獣医である吉田奈央獣医師の指導を受けながら、研修に取り組んでいます。

全酪連では新規就農者をはじめとする、酪農を支える人材育成事業(全酪アカデミー)を立ち上げ、酪農現場にお



る様々な分野で、教育カリキュラムを作成し技術指導に当たる事になり、当酪農研修センターでも従来の専門技術研修の他、全酪アカデミーのカリキュラムを活用した研修内容に取り組みで参ります。

根室農業改良普及センター
営農対策情報

今年分析した 分析表を見てみよう!

多くの農業者が、今年の草地管理を終えられる頃だと思えます。作業が落ち着いたら、今年分析した土

壌分析票を確認してみませんか。今回は、土壌分析票の見方と重要項目のpHの低下について紹介します。

土壌分析票の見方について(図1)

農協名	氏名	組合員コード	圃場番
*****	〇〇	△△	〇〇
作付け予定作物		作型	
チモシー草地		マメ科率区分●	
栽培区分		一般	
土壌分析結果 (mS/cm, mg/l)			
分析項目	基準値	測定値	判定
pH(H ₂ O)	** ~ **	**	
EC	-	-	
培養窒素	-	-	
熱水窒素	-	-	
硝酸態窒素	-	-	
アンモニア態窒素	-	-	
リン酸	**	**	〇〇
カリ	**	**	〇〇
苦土	**	**	〇〇
石灰	**	**	〇〇
ケイ酸	-	-	
腐植	-	-	
リン酸吸収係数	-	-	
苦土・カリ比	**	**	〇〇
石灰・苦土比	-	-	
リン酸・苦土比	-	-	

図1 草地土壌分析結果票のイメージ

主な分析項目について

pH

酸やアルカリの強さを示しています。降雨や化学肥料の影響により、土壌は酸性化しやすい特性があります。酸性化するとリン酸の利用効率が低下など、作物に影響を与える場合があります。

リン酸、カリ、石灰、苦土

それぞれ、作物が利用できるリン酸、カリ、石灰、苦土の量を示しています。

苦土・カリ比

苦土とカリの比率を示しています。苦土とカリの吸収は拮抗作用を持っているため、効率よく吸収させるためにはバランスを取ることが重要です。

重要項目のpHの低下について

土壌への影響

- ①アルミニウムの可溶性 (牧草の生育にとって有害)
- ②微生物の活動が低下
- ③アルミニウムをリン酸が結合しやすくなり、牧草のリン酸吸収を阻害

牧草への影響

- ①牧草の生育が阻害
- ②有機物分解や養分供給力の低下
- ③リン酸の肥効率の低下

各牧草には好適pHがあり(図2)、土壌を好適pHに維持するには石灰資材などを施用します。北海道施肥ガイド2015では草地土壌のpHが5.9以下の場合、石灰資材の施用が必要です。

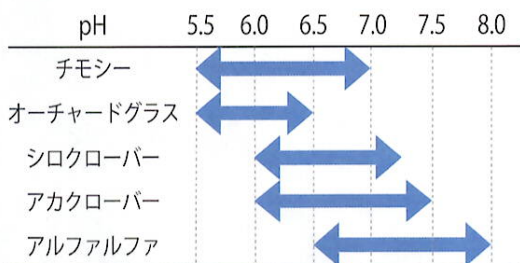


図2 牧草の好適pH (土と肥料のハンドブック 肥料・施肥編を参考に作成)

JA道東あさひにおける2019年7~8月採取土壌分析の結果では、pH5.9以下の草地が78%あり(図3)、多くの草地で石灰資材の施用が必要な状況です。これを機会に、今年の土壌分析票を確認しましょう。

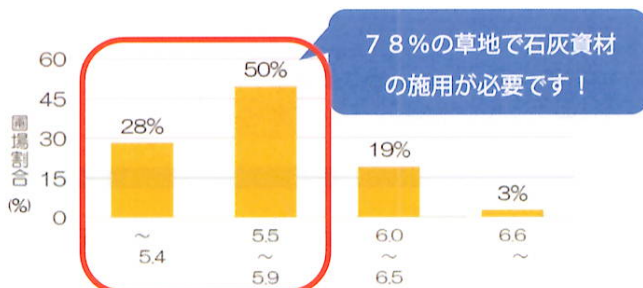


図3 土壌pHの分布割合 (JA道東あさひ2019年7~8月採取土壌)

土壌pHの改善に取り組む方は、普及センター、またはJAにご相談ください



牛乳を使った料理の紹介

おやつにピッタリ ミルクおやき

中央会根釧支所のフェイスブックで、9月17日(木)にフェイスブックサポーターハマコさんが投稿された、お家で簡単クッキング♪第8弾の朝食やおやつにピッタリ「ミルクおやき」をご紹介します。

<材料(5個分)>

- ・白玉粉 150g
- ・牛乳 130ml
- ・つぶあん 100g
- ・有塩バター 20g



①ボウルに白玉粉を入れ、牛乳を少しずつ注ぎながら混ぜ、耳たぶくらいの柔らかさにし、5等分します。



②つぶあんを5等分に丸めます。



③1で2を包みます。



④中火で熱したフライパンに有塩バターを入れ3をのせ、蓋をして弱火で2分。側面まで火を通したら、両面焼き色がつくまで焼きます。

ポイント

じっくり焼くと、ふっくらしてきますよ♪
休日はお子さんと一緒に、ぜひチャレンジしてみてくださいね。



JA 中央会 根釧支所

電話 (0154) 22-0910 番

Facebook
@JAkonsen



⑤皿に盛り付けたら完成です。

中春別小学校 音楽発表会



元気いっぱい、音楽で心を一つに

中春別小学校体育館で、10月16日(金)に音楽発表会が行われました。



新型コロナウイルスの影響で、今年は学芸会の代替イベントとして音楽発表会が行われました。各学年が順番に発表し、練習の成果を発揮しました。歌や、ダンス、楽器演奏と個性あふれる発表となりました。6年生は、ボディーパーカッションを披露し、参観した父兄とリズムに乗って楽しみました。また、中春別小学校伝統の鼓笛隊で、校歌を演奏し、感動する音楽発表会となりました。



「音楽」を「思い出」に変えよう



個人事業税・第2期の納期は11月30日(月)です。納期限までに必ず納めましょう。

金融機関、振興局窓口、コンビニエンスストアから納税できます。
(コンビニエンスストアからの納税は、バーコードが印字されているものに限ります) 詳しくは、根室振興局税務課までお問い合わせください。

お問い合わせ先
根室振興局税務課
〒087-8588 根室市常盤町3丁目28番地
課税に関する事(課税係) 0153-24-5479
納税に関する事(納税係) 0153-24-5466

●【酪農経営科】中学校との連携学習

9月18日(金)と25日(金)に別海中央中学校との連携学習をおこないました。別海中央中学3年生60人を対象に、酪農経営科2・3年生の飼料作物班、資源循環班、動物バイオ班、乳製品加工班がそれぞれの会場で活動紹介をおこないました。飼料作物班は今年で4年目となる「ライ麦を活用した粗飼料の生産」をテーマに、動物バイオ班は牛の卵子や精子の検索内容などを説明しました。また、資源循環班は、家畜ふん尿を活用したバイオガス発電やメタン発酵後の消化液の利用について紹介しました。



中学生へのプレゼンテーション

本校生徒は中学生への研究内容やプロジェクト学習のプレゼンテーション技術を高め、中学生にとっても別海町の基幹産業の酪農を学ぶことでふるさとへの思いを強めることができた学びの場となりました。本校生徒たちからは、「研究活動紹介やPR活動ができて良い機会となった」といった感想が多く聞かれました。

●【酪農経営科】搾乳実習

10月7日(水)～10月16日(金)まで別海町酪農研修牧場で、今年度の搾乳実習をおこないました。2年生を対象として、酪農



パーラーでの搾乳

の基本的技術である「搾乳」について、現地実習をとおして正しい技術を学ぶことを目的に行っています。

生徒たちは、研修牧場の田中様より丁寧に搾乳の手順やミルクの取扱いについて説明を受け、実際のパーラーでの仕事の様子や手順の確認、搾乳について、職員や研修生の皆さんとの研修に熱心に取り組んでいました。酪農経営科2年生全員が2泊の実習を経験し、夜の搾乳器機や泌乳、乳房炎などに関わる学習会と合わせて、搾乳に関する知識と技術をしっかりと学ぶことができました。

●【専攻科】乳牛疾病学

9月28日(月)～30日(水)、根釧地域における疾病の知識向上や対策を理解する授業です。

【1日目】根室家畜保健衛生所の指導課長前田様より「家畜伝染病予防法規」獣医師溝口様より「根室管内で見られる主な疾病」のご講義いただき、防疫や伝染病発生時の対処について細かくご指導いただきました。



検査現場見学の様子

【2・3日目】ひがし北海道農業共済組合 根室南部事業センター 課長補佐石川様より「農業災害補償制度の概要」について、ご講義いただき、午後から根室南部事業センターで、施設内や各種検査の説明をしていただきました。翌日は、DVDで手術の様子や様々な疾病についてご講義いただきました。

学生からは、「疾病要因や症状・対策方法などわかりやすく説明していただき理解できた。これからも丁寧に牛を観察して、何事も早期発見に心掛けたい」という感想がありました。

●【専攻科】環境科学

10月2日(金)、集中授業「環境科学」でフィールドワークを実施しました。調査対象はウチダザリガニで、もともと食用として摩周湖に放流され、その後40年ほど前に人の手で川に放され増殖したものです。今回は22匹を捕獲し、体長・体重を計測後、よく茹でて試食しました。



ウチダザリガニ計測の様子

現在は特定外来生物に指定されているウチダザリガニですが、もともとは人間が勝手につれてきたもの。一見、自然が豊かにみえる地域でも生態系は様々な問題を抱えていることに学生達は気づいたようです。「生態系を壊す生物がこんなにいるとは。このままではいけない」と語ってくれた人もいました。

●【専攻科】基礎研究活動中間発表

10月7日(水)、1年目学生による基礎研究活動中間発表会が実施されました。4月より自家牧場の経営内容の把握のため様々なデータを採取し、調査する中で牧場の現状と課題を再認識する機会となっています。1年間の研究成果を発表する発表会は来年の3月を予定しておりますので、参観を希望される場合は専攻科長：教諭 八重樫 (Tel0153-75-2053) まで問い合わせ下さい。



発表会の様子

JAグループ通信

JA北海道中央会



9月28日、JR札幌駅にて「フラワーキャンペーン～道産花き日常生活にプラス1～」を開催いたしました。

本キャンペーンは、北海道経済連合会とJAグループ北海道の主催で、新型コロナウイルスの感染拡大により需要が落ち込んでいる北海道産花きの需要を喚起することを目的として、お越しいただいた道民の皆さまに北海道産の花1000束を無料配布いたしました。小野寺会長(JA北海道中央会)、真弓会長(北海道経済連合会)に加え、北海道のご協力のもと、鈴木知事にも応援に駆けつけていただき、1000束の花全てを配布することができました。

皆さまも是非、ご家庭で北海道産の花を飾っていただくとともに、大切な人への贈り物などでも道産の花を取り入れて、花のある、そして華のある日常生活を楽しんでください。

JAグループ北海道は、「AGRIACTION! HOKKAIDO」(アグリアクション北海道)の一環として、今後も北海道産花きの消費拡大に取り組み、花き生産者を含む全道の生産者を応援していきます。



JA北海道信連



8月25日、バイオマスリサーチ株式会社(本社：帯広市)と北海道信連、農林中央金庫は酪農・畜産業へのバイオガスプラント普及に向けた連携協定を締結しました。3者が連携することにより、プロジェクトチームの組成、事業性評価とファイナンスメニューの構築に取り組み、ふん尿処理にかかる営農課題解決に加え、循環型で持続的な営農体系の確立と、エネルギーの地域循環の実現を目指してまいります。



JA共済連北海道



JA共済連北海道は、平成20年より地域貢献活動の一環として、交通安全啓発運動を北海道警察本部と連携し「旗の波運動」として取り組んでいます。

街頭で小旗などを振り、ドライバーに交通安全を呼びかけ、交通事故の撲滅、および交通安全意識の向上を目的に活動しております。

今年度も札幌地区では9月23日に共済ビル前の街頭で実施しドライバー・歩行者へ交通安全運転を呼びかけました。



ホクレン



ホクレンは、「ホクレン大収穫祭」の一環として、北海道米「ゆめぴりか」計4tと、北海道産馬鈴しよ、玉ねぎそれぞれ計500kgを、札幌市内の児童福祉施設10カ所に寄贈しました。寄贈は今年で36回目。今年は新型コロナウイルスの影響で、札幌三越での会場販売が取り止めとなったことから、ホクレンの篠原末治会長が札幌市役所を訪れ、町田隆敏副市長に目録を手渡しました。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。10月発刊の秋号においてはプレゼント付アンケートのコーナーもございます。是非、JA北海道厚生連のホームページをご覧くださいアンケートへのご協力をお願い致します。



JAグループの連合会・中央会の活動内容をご紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

がんばれ!日本の農業



創せう、大地と地域の暮らし。JAグループ <https://tag.ja-group.jp/>



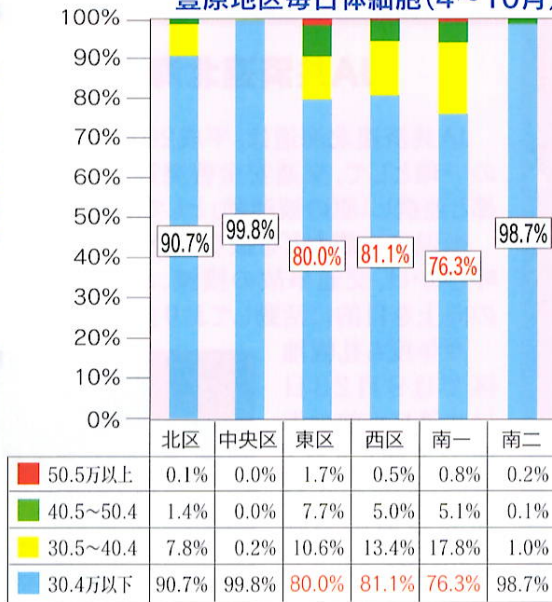
生乳汚染事故を無くそう！

- **抗菌性物質** 混入事故……………JA中春別発生件数 **2件** 管内合計では**5件**です。
- **生菌** による汚染事故……………JA中春別発生件数 **0件** 管内合計では**3件**です。
- 異物混入、加水、血乳による汚染事故……………JA中春別発生件数 **0件** 管内合計では**0件**です。
- 異臭、異常風味による汚染事故……………JA中春別発生件数 **0件** 管内合計では**0件**です。

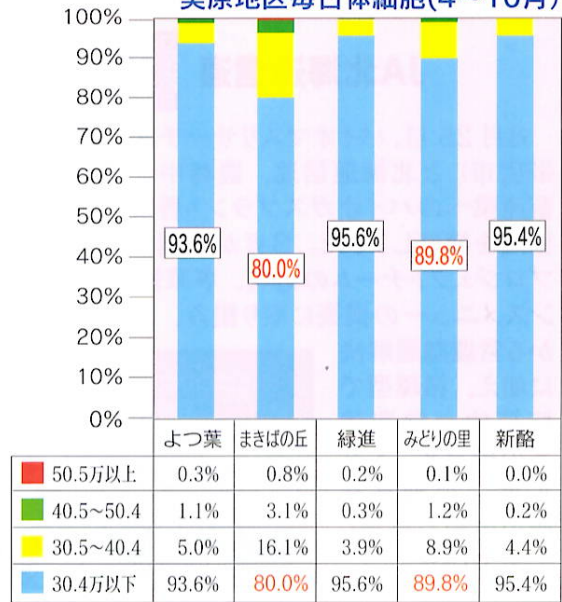
毎日数頭のPLテストと体細胞検査で バルク体細胞数のコントロールを!!

良質生乳生産推進委員会からの標語

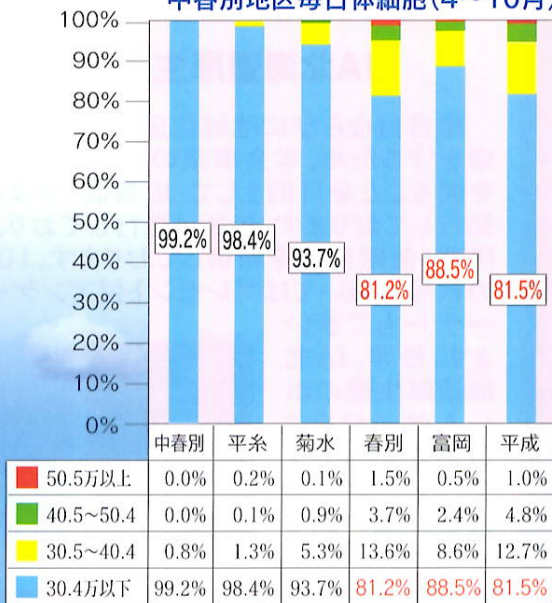
豊原地区毎日体細胞(4~10月)



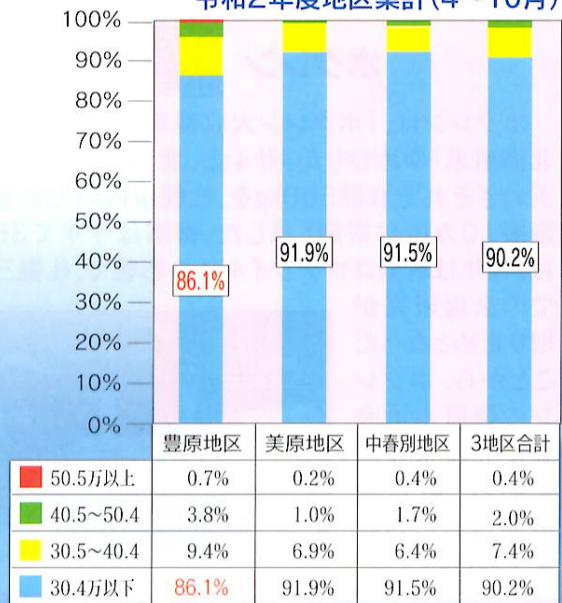
美原地区毎日体細胞(4~10月)



中春別地区毎日体細胞(4~10月)



令和2年度地区集計(4~10月)



第9回 理事会の動き

令和2年10月29日(木)

報告事項

1. 令和2年度9月末財務状況について
2. 令和2年度9月末購買事業実績について
3. 令和2年度9月末購買品棚卸結果について
4. 令和2年度9月末基準決算見通しについて
5. 令和2年度上半期経営定期点検報告について
6. 子会社における固定資産の取得状況について
7. 固定資産の実査について
8. 令和2年度9月末子会社の監査報告について
9. 令和2年度一日皆貯金の実績報告について
10. 令和2年度9月末営農関連実績について

議案

1. 令和2年度下半期余裕金運用計画額及び運用方針について
2. 令和2年度半期ディスクロージャー誌による開示について
3. リース契約の締結について
4. JAエクステンションローンの貸付について
5. 令和2営農年度財産造成に伴う資金の貸付について
6. 令和3営農年度営農基本方針(案)について
7. 特定疾病感染補償互助会の支払いについて

協議事項

1. 組合員懇談会の意見集約について

9月 乳質乳価一覧表

(単位:円/)

9月分乳代支払単価

				単 価	支 払 額	前 年 期	差	項 目	単価(円)/(kg)%
乳 脂 肪 分				1,019.809	39.44	39.88	-0.44	乳 脂 肪 分 ①	39円44銭
無 脂 乳 固 形 分				647.298	56.44	56.62	-0.18	無脂乳固形分②	56円44銭
生 産 者 補 給 金				5.5254	5.53	5.61	-0.08	生産者補給金③	5円53銭
集 送 乳 調 整 金				1.6889	1.69	1.68	0.01	集送乳調整金④	1円69銭
補 給 金 合 計				7.2143	7.22	7.29	-0.07	脂 肪 率	全道 3.87%
乳 質 単 価	生 菌 数	ランク1	2	313,859,484.2kg	3.64	3.65	-0.01	農協	3.94%
		ランク2	0	10,656,591.8kg				無 脂 固 形 分 率	全道 8.72%
		ランク3	-3	226,079.4kg				農協	8.66%
	体細胞数	ランク1	2	270,922,102.2kg				成分乳価	全道 103円10銭
		ランク2	1	26,151,090.1kg				①+②+③+④=⑤	農協 103円45銭
		ランク3	-2	6,746,116.2kg				乳 質 乳 価	全道 3円64銭
合 計					106.74	107.44	-0.70	⑥	農協 3円63銭
								乳 代 合 計	全道 106円74銭
								農協	107円08銭
								⑤+⑥	差異 0円34銭

組合員の広場



オレの

牛飼い川柳

@...spice

<PART・3> 職場模様 売場利国【(有)エスエルシー会長】

深夜でも
ロボットことこと
乳搾る
@...これぞ巨額の報酬
超まじめ

いま飲み屋
牛温恵が
呼び付ける
@...いま戻るよ!(涙)
牛温恵↓分娩予知通報システム

メールの世
ラインが担う
報道相(ほうれんそう)
@...有力な「3密」回避かな
報道相↓報告 連絡 相談

仕事せず
名ばかり会長
空威張る
@...困ったもんだ(笑)

いつのまに
教育ファームに
様変わる
@...急募!「先生経験者」かな
新規事業で根釧の高校(農系)
と連携

今月号の組合員の広場は売場利国さんの川柳を掲載いたしました。

組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。

営農振興課・原内までお気軽にご連絡ください。